

使用前に部屋の片付けを…

～ロボット掃除機の性能～

留守中やテレビを見ている時間に部屋を掃除してくれるロボット掃除機が、単身者や子育て中の主婦などに人気が高まっています。また、一般的な掃除機を使うのがつらい高齢者などにも購入を検討する人が増えています。そこでロボット掃除機の性能をテストしました。

テスト品目

・ロボット掃除機 4 銘柄（1 銘柄は 1 万円以下の廉価タイプ）

テスト結果

○ゴミの種類による除去率

約 6 畳のプラスチックタイル（Pタイル）とじゅうたんの上で、糸（しつけ糸・たこ糸）、砂ゴミ、紙ゴミを一定の重量を均等にばらまき除去率を調べました。

糸ゴミと紙ゴミは全銘柄、Pタイル、じゅうたんとも95%以上の除去率でした。ただし、No.1～3は、長い糸（15、20cm）がブラシに絡まりました。No.4はブラシが無いのでタイヤなどに付着しました。砂ゴミに関しては、No.4にはブラシが無く吸引のみなので吸い込みが弱く、除去率がPタイルで73%と他銘柄に比べ悪い結果でした。

○コーナーのゴミの除去率

丸い構造上、壁際のゴミを除去するにはサイドブラシによるゴミのかき寄せが必要です。全銘柄サイドブラシがあり、壁際のゴミの除去は問題ありません。ただし、四隅にはブラシが届かず取り残しがありました。

○段差性能

No.1～3は2.4cmの段差を乗り越えることができたのに対し、No.4は1.2cmの段差を乗

り越えることはできませんでした。

○電気代

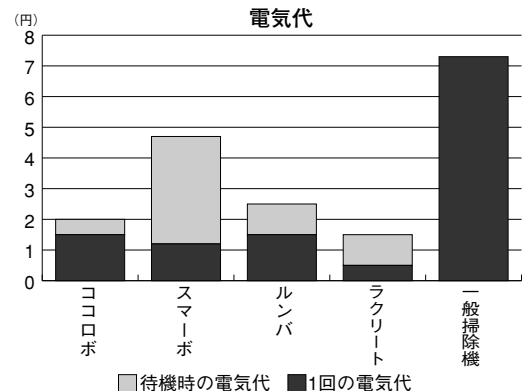
1回にかかる電気代は0.6～1.5円でした。一般の掃除機（1,000Wを20分使用した場合）は約7.3円なので、掃除の電気代は安くなります。ただし、ロボット掃除機は充電した後、待機時に電気代がかかるので、この待機時の電気代は0.5～3.5円と大きな差がありました。特にNo.3の待機時の電気代が高い傾向にありました。

○騒音

一般掃除機を含めPタイルよりじゅうたんの方が、音が小さい傾向にありました。また、ロボット掃除機は一般掃除機よりかなり静かで、特にNo.2は一番静かでした。

○安全性

全銘柄、本体下部に段差センサーがあり、階段などで本体が落下しないようになっています。また、No.1～3は本体を持ち上げるとすぐに停止する構造になっています。No.4は停止するまで約8秒かかりました。No.2とNo.3にはバーチャルウォール（偽の壁）と呼ばれる付属品がありこれを利用すると赤外線でその先に本体が入ってこないようにもできます。



No.	銘柄	型式	製造又は販売者名	電池	大きさ直径 (mm)	本体質量 (kg)	充電時間	最長運転時間	主な付属品	購入価格 (円)
1	ココロボ	RX-V80	シャープ(株)	リチウム	346	約3.3	約4時間	約1時間	リモコン・交換用サイドブラシ	65,100
2	スマーボ	VC-RB7000	東芝ホームアプライアンス(株)	リチウム	350	約3.2	約3時間	約60分	リモコン・バーチャルガード・モップ(2)	56,700
3	ルンバ	R620	アイロボット社	ニッケル水素	340	約3.7	約3時間	最大90~120分	リモコン・バーチャルウォール・クッションラバー	47,000
4	ラクリート	CZ-860	(株)シー・シー・ピー	ニカド	270	約1.5	約4時間	約50分	回転ブラシ(1セット)	9,240



No.1 ココロボ



No.2 スマーボ



No.3 ルンバ



No.4 ラクリート

○使用性

全銘柄ダストボックスを外し、ゴミ捨てが容易です。ゴミの量にもよりますが、使い始めにダストボックスのゴミを捨てる手間がかかります。ダストボックスのフィルターなどの掃除には一般の掃除機を使うと便利です。

除去には問題なく使用できます。

消費者へのアドバイス

- ・ロボット掃除機の使用前には、床の上にコードや書類などがあると絡まってしまうので、整理する必要があります。水分を吸い取ると故障の原因になるので、飲み残しのペットボトルなども片付けましょう。

個々の評価

No.1 (ココロボ) ゴミの除去率は良かった。壁にぶつかったときやスタートするときにしゃべるので遊び感覚で使用できるのが特徴。他銘柄に比べ、毛足の長いじゅうたんなど絡まりやすい。

- ・本体と同じくらいの高さの隙間に潜り込んで停止したり、じゅうたんがめくれてしまったりすることがあるので、両面テープで抑えるなどの工夫が必要な場合もあります。

No.2 (スマーボ) 一番薄型で静か。壁や家具にぶつかる率が他銘柄に比べ少なく、同じ広さの部屋を掃除した場合、他銘柄に比べ運転時間(掃除の時間)が短い傾向にあり、ゴミの除去率も比例して少ない傾向にありました。また、待機時の電気代が高い。

- ・掃除の手間は大幅に軽減できますが、コーナーやロボット掃除機の入れない所は普通の掃除機を使用しましょう。

No.3 (ルンバ) ゴミの除去率を含め総合的に良かった。一番重く、厚さもあるので重厚感があります。本体に取っ手が付いているので持ち運びに便利。

- ・No.1~3は掃除が終わると自動で充電台に戻りますが、充電台の周りに障害物があると戻れないのでスペースの確保が必要です。

No.4 (ラクリート) 廉価タイプ。掃除した後充電台に戻らない、重いゴミは吸えないなど欠点がありますが、日常出るほこりなどの

- ・一般的な掃除機よりかなり静かですが、テレビなどを見ていると気になる大きさです。

- ・バッテリー交換時期は1~3年とさまざまです。また、ブラシなどの消耗品の価格にも違いがあるので、購入の際はよく確かめましょう。

各 位

訂正とお詫びについて

商品テスト結果「ロボット掃除機の性能」の記載に誤りがありました。
読者の皆さま、ならびに関係各位にご迷惑をおかけしましたこととお詫び
するとともに訂正させていただきます。

正 誤 表

訂正箇所	誤	正
1枚目右段9行目	「No.3の待機時の電気代…」	「No.2の待機時の電気代…」